

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代女性)あります。本年の累積報告数は15例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(30歳代男性)あります(第33週追加報告分)。推定感染地域は国外(タイ)で、推定感染経路は蚊媒介です。これまでに京都市内で報告されているデング熱は、全て海外の流行地で感染し、帰国後に発症する輸入症例です。
本疾患は蚊を媒介して感染するもので、人から人には感染しません。屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、忌避剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代男性)あります(第33週追加報告分)。本年の累積報告数は21例となり、過去5年間で最も多かった昨年の年間16例をすでに上回っています。性別では、男性が全報告数の約80%(17例)を占めており、年齢階級別では、70歳以上が過半数となっています。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(40歳代男性)あります。本年の累積報告数は15例となり、過去5年で最も多かった平成23年を上回るペースで報告されています。

◆ 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

- 侵襲性肺炎球菌感染症は、平成25年4月1日に五類感染症に追加され、本年は第34週までに27例の届出があり、昨年同様のペースで増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 4例(肺結核 2例, その他結核1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 237例(肺結核 111例, その他結核 62例, 潜在性結核感染者 64例)うち喀痰塗抹陽性 62例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 15例】
- 四類:デング熱 1例(第33週追加分)【1月以降の累積報告数 7例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例(第33週追加分)【1月以降の累積報告数 21例】
- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 15例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

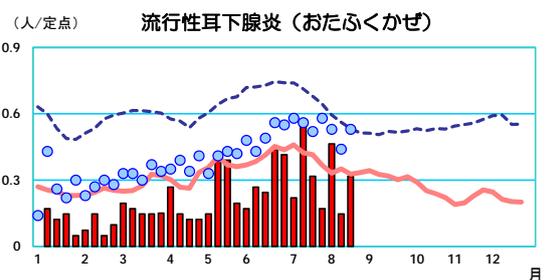
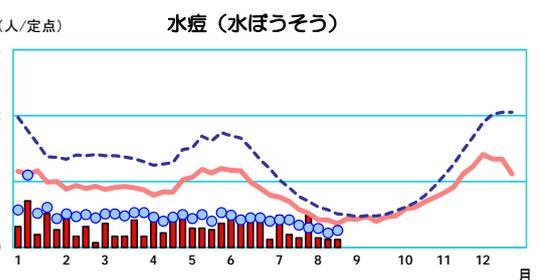
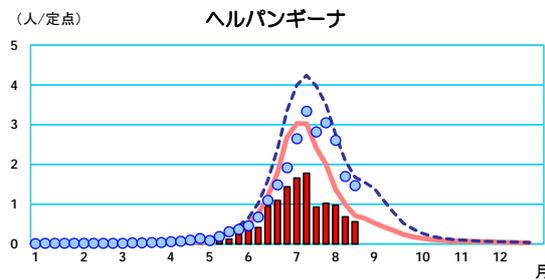
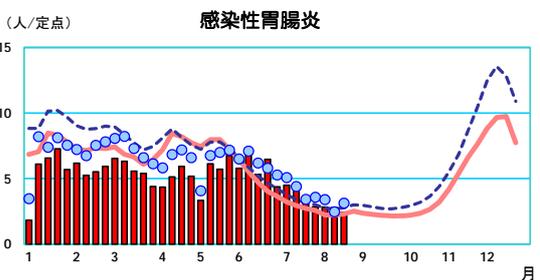
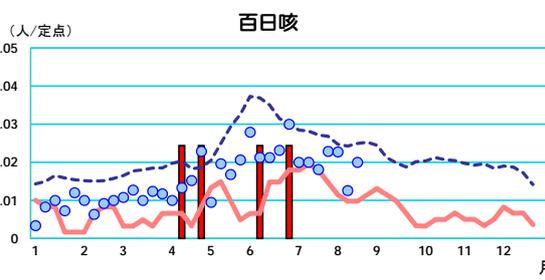
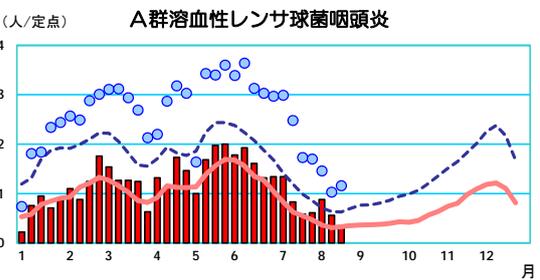
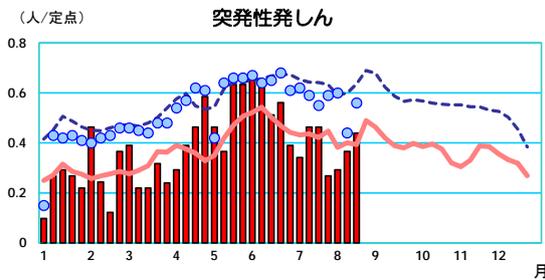
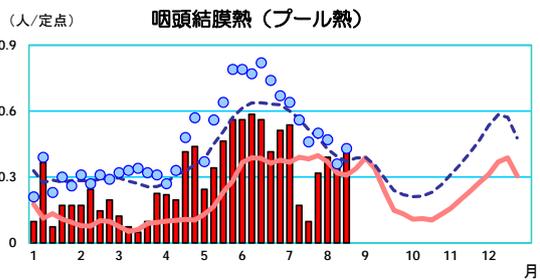
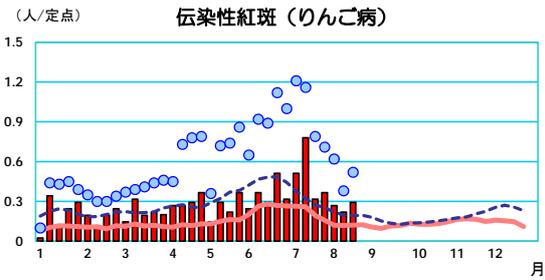
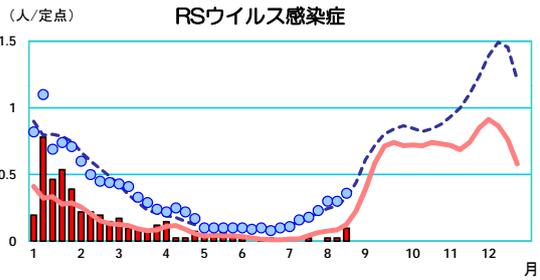
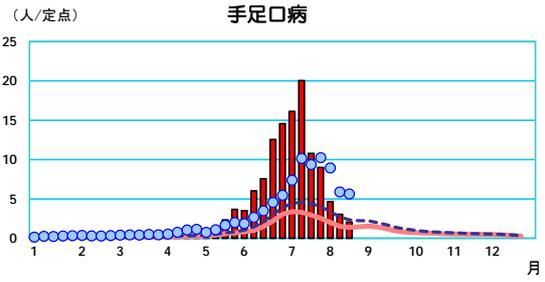
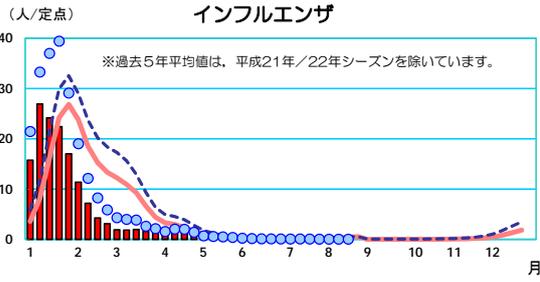
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.44	100
	② 手足口病	2.05	84
	③ ヘルパンギーナ	0.56	23
	④ 咽頭結膜熱	0.44	18
	④ 突発性発しん	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成27年8月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第34週(8月17日～8月23日)トピックス: < 侵襲性肺炎球菌感染症 >

京都市の発生動向

侵襲性肺炎球菌感染症 (invasive pneumococcal disease: IPD) は、平成25年4月1日に五類感染症に追加され、本年は第34週までに27例の届出があり、昨年同様のペースで増加しています(図1)。

本年の第34週までに京都市に届出のあったIPD 27例の年齢分布をみると、60歳以上の高齢者の報告が約6割を占め、そのほとんどが菌血症または菌血症を伴う肺炎を発症しています(図2)。

27例のワクチン接種歴をみると、ワクチン未接種と接種歴不明とで全体の88.8%(24例)を占めています(図3)。

症状

髄膜炎や菌血症を伴う肺炎の症状を呈し、かつ、通常なら無菌的である血液や髄液等から肺炎球菌が検出されます。IPDは、一般的に5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症することが知られています。

予防

ワクチン接種により、重篤な症状になるリスクを95%以上減らせるといわれています(厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/pneumococcus/ 平成27年8月27日アクセス)。予防接種法改正により、平成25年4月から小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化、平成26年10月からは高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は、下記ホームページをご参照ください。

○京都市情報館ホームページ

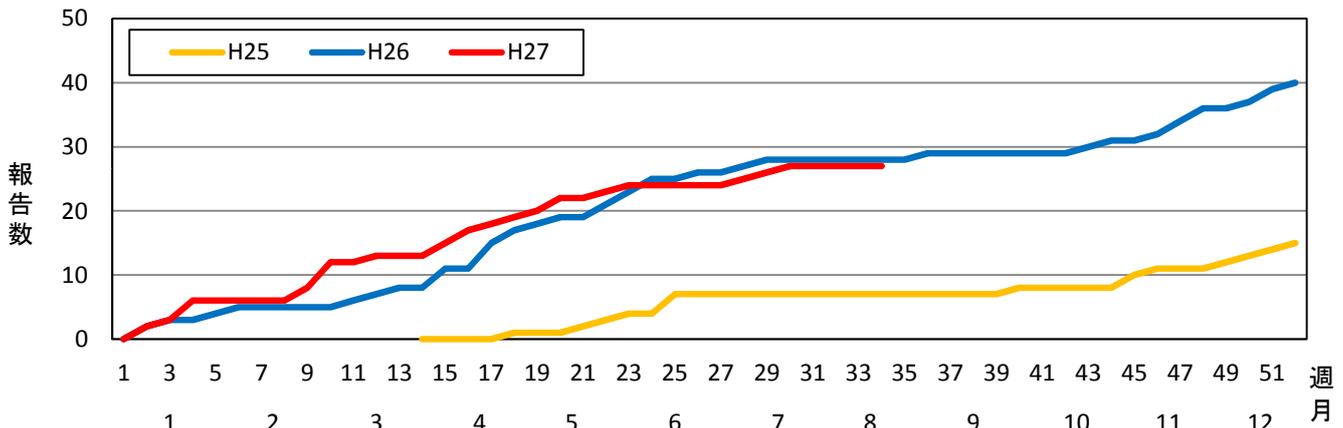
「京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

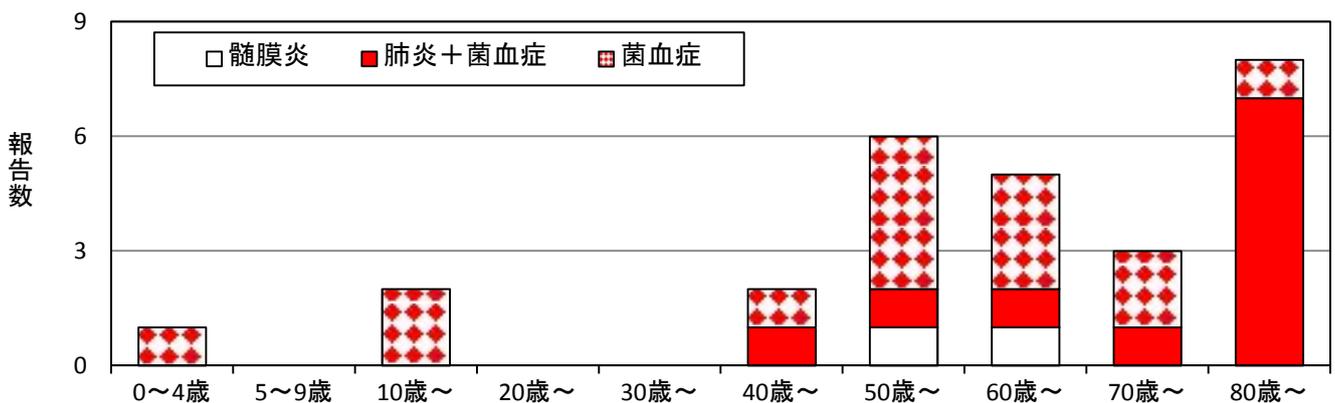
「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

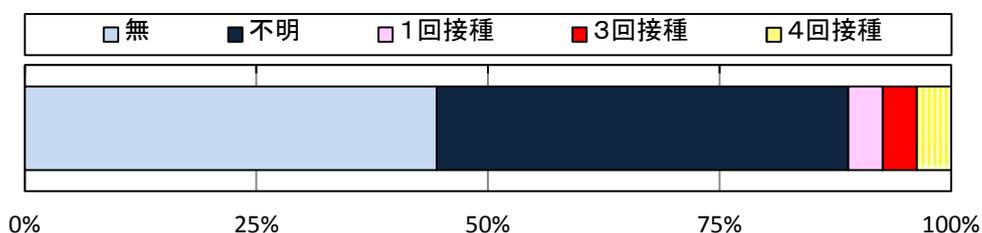
(図1)京都市の累積報告数の比較(平成25年4月1日～)



(図2)京都市に報告のあった27例の年齢別・疾患の内訳



(図3)京都市に報告のあった27例のワクチン接種状況の割合



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第34週

疾病,行政区別報告数

平成27年8月17日～平成27年8月23日

データ入手日:平成27年8月27日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	1	-	2	-	-	6	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	7	3	16	-	9	2	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2	1	6	-	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	20	-	3	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	3	5	2	1	1	-	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	2	-	11	-	14	1	2	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	5	-	10	1	2	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	1	4	1	20	-	19	3	2	-	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	3	19	2	15	3	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	4	18	14	100	5	84	12	18	-	23	13	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計	-	-	0.25	-	0.50	-	0.25	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	-	0.50	-	0.25	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	0.33	-	0.67	-	-	2.00	0.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	1.75	0.75	4.00	-	2.25	0.50	0.75	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	0.67	0.33	2.00	-	0.67	-	0.33	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	10.00	-	1.50	-	0.50	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.75	1.25	0.50	0.25	0.25	-	1.00	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1.50	0.50	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.67	-	3.67	-	4.67	0.33	0.67	-	2.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	1.00	-	2.00	0.20	0.40	-	0.20	0.40	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.14	0.57	0.14	2.86	-	2.71	0.43	0.29	-	0.57	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.25	0.75	4.75	0.50	3.75	0.75	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.10	0.44	0.34	2.44	0.12	2.05	0.29	0.44	-	0.56	0.32	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第34週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年8月17日～平成27年8月23日

データ入手日:平成27年8月27日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	18	-	4	6	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	14	-	-	-	-	2	2	1	2	2	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	100	1	10	17	10	7	4	2	1	6	7	5	18	3	9	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	5	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	84	-	7	29	15	6	4	7	3	-	3	3	2	-	5	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	12	-	-	2	1	1	2	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	18	1	6	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	23	1	1	6	4	3	2	3	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	13	-	-	1	1	2	1	1	2	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	4	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.10	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.44	-	0.10	0.15	0.02	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.34	-	-	-	-	0.05	0.05	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	2.44	0.02	0.24	0.41	0.24	0.17	0.10	0.05	0.02	0.15	0.17	0.12	0.44	0.07	0.22	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.12	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2.05	-	0.17	0.71	0.37	0.15	0.10	0.17	0.07	-	0.07	0.07	0.05	-	0.12	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.29	-	-	0.05	0.02	0.02	0.05	0.07	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.44	0.02	0.15	0.22	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.56	0.02	0.02	0.15	0.10	0.07	0.05	0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.32	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.05	-	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.40	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第34週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年8月27日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		2	-	2	-	-	-
RSウイルス感染症		-	1	-	1	1	4
咽頭結膜熱		7	4	13	16	14	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34	24	25	36	23	14
感染性胃腸炎		177	140	117	116	114	100
水痘		8	6	20	6	5	5
手足口病		822	443	369	191	125	84
伝染性紅斑		32	13	15	11	9	12
突発性発しん		19	19	11	12	15	18
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		73	38	42	40	28	23
流行性耳下腺炎		23	13	7	19	6	13
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	1	4	1	4	4
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		1,202	702	625	449	344	295

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.03	-	0.03	-	-	-
RSウイルス感染症		-	0.02	-	0.02	0.02	0.10
咽頭結膜熱		0.17	0.10	0.32	0.39	0.34	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.83	0.59	0.61	0.88	0.56	0.34
感染性胃腸炎		4.32	3.41	2.85	2.83	2.78	2.44
水痘		0.20	0.15	0.49	0.15	0.12	0.12
手足口病		20.05	10.80	9.00	4.66	3.05	2.05
伝染性紅斑		0.78	0.32	0.37	0.27	0.22	0.29
突発性発しん		0.46	0.46	0.27	0.29	0.37	0.44
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.78	0.93	1.02	0.98	0.68	0.56
流行性耳下腺炎		0.56	0.32	0.17	0.46	0.15	0.32
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.10	0.40	0.10	0.40	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		29.68	17.20	15.53	11.03	8.69	7.50

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。